

■ 定格仕様

測定範囲	100Ω、500Ω フルスケール（2レンジ）
測定精度	±5%（フルスケール）
測定周波数 及び波形	定格周波数50Hzの場合25Hz } を基本波とする方形波 定格周波数60Hzの場合30Hz }
測定電流	約100μA
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
使用温度範囲	-10℃～50℃（結露なき事）
地電圧の影響	地電圧10Vまで測定誤差±2.5%以内
消費電力	約0.65W
重量	350g（リード線、電源コードを除く）
外形寸法	150×75×32mm（タテ×ヨコ×フカサ）
付属品	●測定用リード線1本（2m） ●補助アース棒用リード線1本（2m） ●電源コード1本 ●補助アース棒1本 ●収納ケース1コ
ユーザー価格(円)	19,800

ERT-1の1問1答

A

問. ERT-1の測定信頼性は？

答. ERT-1の測定精度はJISで定められた接地抵抗計に準拠するもので、第3種接地専用測定器として公的機関である特殊法人日本電気計器検定所で性能を十分満足していることの証明をうけております。

B

問. 使用温度範囲は？

答. JIS規定値より幅広く-10℃～50℃で、又温度特性は±5%以内で精度良く測定できます。

C

問. 補助接地のとり方は？

答. 補助接地は被測定アース極より1m以上離れていれば方向性に関係なく測定でき、また5寸クギ位の金属棒を打ち込む程度、あるいはコンクリート上にこの金属棒か金網をおいて水をまく程度の簡単な補助接地で実用上差支えなく測定できます。（補助接地抵抗として50KΩ程度まで精度に影響なく測定できます。）

D

問. AC100Vコンセントを使用する場合その回路にある漏電遮断器を動作させることは？

答. AC100V回路のアース側に流す測定用定電流は0.1mA程度ですから、漏電遮断器を誤動作させることは全くありませんし、この電流値は何らの電気ショックも感じさせない安全電流です。

E

問. 第3種接地抵抗が連接接地の場合は？

答. 第3種接地抵抗を各々切離して、個々に測ることが必要です。切離さなければ合計値が測定されます。

F

問. 誤って測定端子に過電圧100～200Vを加えてしまったら？

答. 耐電圧AC250Vにしていますので、こわれることはありません。

G

問. アーステスタの正常動作のチェックは？

答. 「補助」と「測定」の両端子間をショートさせるだけでチェックできます。メータの目盛りが300Ωを指示しますと正常です。

H

問. 第2種接地抵抗は測定できますか？

答. 簡易な補助接地を設けて第3種接地抵抗だけを測定して第2種と第3種との合計値から引算すると、第2種接地抵抗値がわかります。